

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023 年 5 月 1 日		
明治大学の所属学部・研究科	法学部法律学科 (学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)		
留学(渡航)した時の学年	4年生		
帰国年月日	2023 年4月1日		
明治大学卒業予定年月	2024 年 3 月		
留学先大学について			
留学先国	アメリカ		
留学先大学	南ユタ大学(日本語名) Southern Utah University(現地言語名)		
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語		
留学期間	2022 年8月～2023 年4月		
留学先大学で在籍した学年	1年生		
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 会計学 (現地言語での名称): Accounting <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:		
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:		
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月上旬～4 月末 3 学期: ～ 4 学期: ～		
学生数	6000 程度		
創立年	1897		

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料		円	交換留学のため該当なし
宿舍費	4600	円	オフキャンパス、寝室風呂トイレは個別
食費	5400	円	
図書費	500	円	
学用品費	100	円	
携帯・インターネット費	150	円	iPhone 持参、回線契約のみ Mint mobile
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1600	円	
被服費	600	円	冬服を現地調達した
医療費	20	円	風邪薬と解熱鎮痛剤を買った
保険費		107415 円	形態: 明治大学指定のもの
渡航旅費		円	マイレージ使用
ビザ申請費	185	円	
雑費	600	円	
その他	2000	円	旅行
その他		円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:HND 目的地:LAS 経由地:LAX	
復路 出発地:LAX 目的地:HND 経由地:友人宅(サンディエゴ)	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:デルタ航空 料金:マイレージ使用 復路 航空会社:デルタ航空 料金:マイレージ使用 ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学のホームページにある物件一覧	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>オンキャンパスの寮に入らずにアパート(Tbird Heights)になったが、結果的に寮よりも良かった。Cedar City はとても治安が良く、徒歩での移動が可能なので、オフキャンパスも候補に入ると良いかもしれない。ゴミ出しや共用部分のルール等を早めに決めておいた方がいい。就活の予定がある人は深夜に ZOOM をする機会が生じると思うので、個室がおすすめ。その都度払えば学食は利用できる、ミールプランはなくていいと思う。</p>	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:病院に行く元気がなかったため、市販薬で耐えた。)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
<p>外務省のサイトには登録していたが、とても平和な町で、特に治安を気にすることはなかった。大学から緊急 S M S が送られてくるシステムがある。</p>	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
<p>寮の Wi-Fi が、深夜にたまに繋がらなくなることがあったが、概ね問題はなかった。基本的に大学と寮の往復で Wi-Fi 環境下にいることがほとんどなので、S IM は月4G B で十分だった。</p>	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
<p>事前に Union Bank を日本から開設し、ドルで送金。現地ではデビットカードを使った。渡航後に Wells Fargo の口座も開設した。友人間の送金は Venmo を使うことが多かった。</p>	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
<p>金額を問わなければ概ねなんでも現地調達が可能。持っていって良かったものは、ゆで卵の茹で時間がわかるタイマー、箸、使い慣れた生理用品、サイズの合う下着、割って飲めないタイプの薬(現地のものは量が多い)、洗濯ネット、乾燥わかめ。醤油酒みりんは見かけたが麺つゆは見かけなかった。就活生はスーツ(上半身)、使い慣れた電卓、試験の参考書があるとよい。</p>	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Acculturation	アカルチュレーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、課外活動あり(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が2回
担当教授	Jake Smith
授業内容	留学生の必修科目。アメリカでの生活や文化を学ぶ。
試験・課題など	毎週授業内容の小テスト、課題、期末試験
感想を自由記入	留学生の必修科目。新入生オリエンテーションの拡大版のような授業。生活する上で必要な知識や文化についても学ぶ。留学生の友達ができる。出席して課題をやっていたら単位はくる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Accounting Principles	会計学
科目設置学部・研究科	Accoouunting
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Mary Pearson
授業内容	一般的な会計学の授業
試験・課題など	授業内での小テスト、仕訳の練習問題、中間試験と期末試験
感想を自由記入	第二言語で背景知識のない分野を学ぶのは初めは大変だったが、教授の説明がとてもわかりやすく楽しい授業だった。中間試験の日に高熱がでて欠席してしまったが、事情を説明し、回復後に教授のオフィスで試験を受けさせてもらった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Beginning Spanish I		スペイン語
科目設置学部・研究科	Spanish	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回	
担当教授	Jason Stinnett	
授業内容	講義、会話	
試験・課題など	授業毎に復習の小テスト形式の課題。中間と期末試験。筆記の他、ペアで会話をおする試験も。	
感想を自由記入	言語を学ぶだけでなく、文化も学ぶ授業で、とても楽しかった。教授の教え方がうまく、わかりやすいし楽しい。留学生が他にもう一人いたので、英語とスペイン語だけでなく、他の言語との違いに触れたりもした。他の授業と異なり、言語面でのディスアドバンテージがないので、周りとは差もつきにくく成績も取りやすかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Business and Society		ビジネスと社会
科目設置学部・研究科	Business Administration	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Amber Westwood	
授業内容	ビジネス系の学部生の必修科目。ビジネスに関する基礎的な知識全般を幅広く学ぶ。	
試験・課題など	単元ごとの小テストが複数回。	
感想を自由記入	ビジネス系の学部生の必修科目で、幅広い分野に広く触れることができた。一般教養を深めることができ、とてもよかった。現地の学生は、この授業を通じて特に興味のある分野を見つけ、専攻を決めている人も多い。教授がとても優しく、発言しやすい雰囲気。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals of Selling		営業基礎
科目設置学部・研究科	Marketing	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、グループワーク、ロールプレイ (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Kurtis Wankier	
授業内容	営業について学ぶ	
試験・課題など	毎週のオンラインの小テストと課題。対面で中間と期末に試験。イベント参加で追加点。	
感想を自由記入	営業職として活躍するための知識やスキルを習得するためのクラス。英語でロールプレイやグループワークを行うので、とても大変だったが、クラスメイトも教授も優しく、なんとか単位を取ることができた。学びも多く、履修してよかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Business Law I		ビジネスと法
科目設置学部・研究科	Accounting	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	David M. Grant	
授業内容	アメリカの法律のうち、ビジネスに関わるものを幅広く学ぶ。	
試験・課題など	単元ごとの定期テスト、事例問題、レポート	
感想を自由記入	教授が話し続けるのではなく学生に質問が投げられる点は異なるが、法学部生にとっては一番身近な形式の授業だった。丁寧に説明してくれるし、ビジネス系の学部生向けに開講されている授業なので、内容自体は難しくない。しかし、専門用語も全て英語なので、覚えることは多い。教授がフレンドリーで優しく、学期末には教授のお宅でピザパーティーが開催された。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Professional Development		プロフェッショナルディベロブメント	
科目設置学部・研究科	Management		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	グループワーク、講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Niki Tippets		
授業内容	就活の対策や、キャリア形成に関するスキルを学ぶ		
試験・課題など	試験なし。レジュメやカバーレターの作成、グループプレゼン、個人プレゼン、レポートなど。		
感想を自由記入	留学中に就活をおこなっていたので、役に立つことを多く学べた。就職先は日本企業だが、アメリカの就活やビジネスマナーについて学べたのも良い機会であった。グループワークやプレゼンが多かったが、内容は重くないので、ちょうど良い練習になった。教授がとても優しい。		

卒業後の進路について	
1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など	
マイナビ	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
4 月末に、オンラインで先行が完結する法律事務所の内定を頂いた。保険業界と法律事務所を主に受けていた。帰国後に対面で複数社の2、3次面接に参加し、6/1 に第一志望の生命保険会社に内定をいただき、就活終了。就職先の他に、法律事務所、損保、ペット保険の企業から内定を頂いた。	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
留学中に就活をし、帰国前に1社から内定を得た。オンラインで最終まで終わる企業もあり、対面の場合も事情を考慮して面接を調整してもらえることも少なくない。就活を理由に留学を諦めるのは勿体無いと思う。私は、帰国生向けの選考や秋採用の企業もあると思って、留学中は就活よりも留学生生活を優先して過ごしていた。他大学に留学した友人で、ボスカリ等に行って内定をもらっていた人もいる。時間も費用もかかるので、志望度の高い企業がある場合は別だが、とりあえずの内定欲しさに焦って参加するのは個人的にはお薦めはしない。 渡航前に企業研究や夏インターンに参加するなど準備をしておく、本選考で焦らない。スーツ(上)、S PI 等の参考書、使い慣れた電卓を持参した。時差がある中で生活することになるので、個室がおすすめ。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	6、7月:コロナワクチン接種
	8 月 ~ 9 月	9、10 月:TOEFL 受験。23 卒としての就活
	10 月 ~ 12 月	11/4:学内選考出願締切
留学開始年	1 月 ~ 3 月	2 月:ブースター接種。3 月:パスポート更新。
	4 月 ~ 7 月	7 月:夏インターン参加
	8 月 ~ 9 月	8月頭に渡米、留学開始まで2週間ほど LA 観光、8 月下旬に秋学期開始
	10 月 ~ 12 月	12 月:期末試験。NY と LA 旅行。冬インターン参加。
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	1 月:春学期開始。サンダンス映画祭。2 月:春休み。ハリウッド旅行。
	4 月 ~ 7 月	4 月:期末試験。1 社内定。5 月:帰国。6 月 1 日:就活終了
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学先選び

英語のスコアとGPA、履修できる授業、治安を考慮し複数の候補を挙げたのち、就職活動を控えていたため、4月末に帰国が可能であることを理由に、南ユタ大学を第一志望にしました。留学生のサポートやイベントが充実しており、現地の学生がフレンドリーで優しい人が多く、自然が豊かで治安の良い最高の場所でした。また、自身がお酒が飲めないため、宗教的に周りの学生も飲まない人がほとんどなのがとても過ごしやすかったです。留学期間が短いのは寂しいけれど、南ユタ大学を選んでとても良かったと思っています。

授業等

授業は少人数のクラスが多く、発言を求められることや、グループワーク、プレゼンテーションの機会もありました。初めは緊張しましたが、慣れます。1000レベルを多めに履修したので、授業内容自体はそこまで難しくなく、授業を聞いて予習復習をしていけば問題なくついていくことができました。英文のリーディングは大変でしたが、こちらも慣れます。図書館で勉強している学生が多かったですが、私はルームメイトたちと寮の共有スペースで勉強していました。

試験や課題は、授業によって様々です。小テストが定期的にある代わりに、ファイナルはない授業。試験はなくレポートが何回か課される授業。プレゼンや授業中の発言等で評価される授業等がありました。アメリカの大学は課題が多いと言われていますが、その分授業時間や科目数は少ないので、テスト期間などを除けば、自由時間を過ごす余裕は十分にありました。日曜日の日中は多くの学生が教会に行っていて予定が入ることが少ないので、その時間にまとめて課題を進めておきました。

教授がとても優しく、説明がわかりやすく授業が面白いので、勉強は苦ではありませんでした。初回の授業で教授に個別に挨拶に行き、留学生であること、板書が間に合わないので写真を撮らせてほしいことを伝えに行ったので、その後も何かと気にかけていただけてよかったです。

友人関係

留学生のコミュニティ、授業で仲良くなった学生、ルームメイト、所属したクラブの学生、が主な交友関係でした。友達がたくさんできたので、帰国は寂しいですが、とても楽しかったです。特にルームメイトと過ごす時間が多く、休暇などにはご実家に遊びに行ったりもしました。SNSでも繋がっているの、帰国後も頻繁に連絡を取っています。

また、日本人を含めアジア人の学生も多く、現地の学生が長期休暇で実家に帰ってしまっている間などに一緒に遊んだりもしましたが、それ以外ではあまり関わりは多くありませんでした。日本人で固まっているグループもできている印象でしたが、私はちょうど良い距離感を維持していました。

大学外の活動

大学外では、主にルームメイトたちと過ごすことが多かったです。リビングでみんなて課題をやったり、映画を観たりゲームをしたり、大学のジムでクライミングをしたり、週末には近くの街に出かけたりハイキングに行ったり、雪で遊んだりもしました。スケートクラブにも所属したので、そこでも友達ができました。長期休暇は現地の学生は実家に帰る人がほとんどだったため、他の留学生と遊んだり、一人旅をしたりしました。アカデミー賞に合わせてLAに行ったり、サンダンス映画祭に行ったりもして、充実していました。

英語

渡米前の英語力に関し、出願時はTOEFL81、TOEIC880程度。留学直前のTOEICが940点でした。授業や日常生活では、その程度の英語力があれば問題なく留学生活を送れると思います。

一方で、友人とのコミュニケーションには苦労がありました。1対1での会話は問題ないのですが、複数人で話しているときは、わからない表現やスラング等が多く、また会話のペースが早いので発言するタイミングを逃したりと、慣れるまでは大変でした。しかし、わからないことは聞いたら教えてくれるし、話してみれば聞いてもらえるので、あまり気負いせずにコミュニケーションを取ろうという意志が大切だと改めて実感しました。Urban Dictionary というサイトが、スラングなどの通常の翻訳では意味がわからないことを調べるのに非常に便利です。

その他

中間報告書には準備に関することを記入したので、そちらも参考になれば幸いです。

知らない土地での生活は不安もあるかもしれませんが、うまく行ってもいなくても、良くも悪くも一年後には帰国です。後悔のないよう、ぜひいろいろなことに挑戦してみてください。